

日本物理学会 物理教育委員会
第76期(2020年4月1日～2021年3月31日)活動報告書

第76期物理教育委員会委員長 鈴木 勝

日本物理学会物理教育委員会（以下、「本委員会」）の第76期の活動は以下の通りであった。

I. 構成員と会議

1. 構成員（全15名）

委員長	鈴木 勝（電気通信大学）	
幹事	田中忠芳（金沢工業大学）	中村 仁（電気通信大学）
委員	内山 智香子（山梨大学）	門 信一郎（京都大学）
	喜多 誠（元 慶應義塾高）	斉藤 準（帯広畜産大学）
	佐甲 徳栄（日本大学）	鈴木 康夫（拓殖大学）
	高橋 尚志（香川大学）	鳥井 寿夫（東京大学）
	中村 琢（岐阜大学）	村石 幸正（中央大学）
	山内 誠（宮崎大学）	

2. 会議

- ・次のとおり全4回を日本物理学会会議室で開催した。

2020年

第1回 7月6日 第2回 8月20日 第3回 11月10日

2021年

第4回 3月2日

II. 活動方針

- ・例年同様に、小中学生向け企画（物理教室、世田谷区理科教室）、高校生・一般向け企画（公開講座）、教員向け企画（物理教育シンポジウム、基本実験講習会）などを開催し、物理教育の普及および教員支援活動を行う。
- ・物理教育に関連する事項について審議・検討する。

III. 主な検討・活動内容

1. 物理教育シンポジウムの開催

- ・第11回物理教育シンポジウムを次の通り企画しオンラインで開催した。

テーマ：「オンライン授業を考える」

日時：2021年3月28日（日）13:00～16:30

場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー）

参加者数：186名

[詳細ページ（物理教育シンポジウム）] <https://www.jps.or.jp/public/edsympo/2021edsympo.php>

2. 公開講座の開催

- ・本会は、高校生・大学生を中心に一般市民を対象とした公開講座を主催している。このうち、本委員会では、東京地区で開催される理事会企画の原案作成・準備および実施を担当

している。本公開講座が理事会企画であること、および毎年科学研究費助成事業「研究成果公开发表(B)」に応募していること等を考慮し、原案作成は開催の一年以上前に行っている。

<2020 年度>

- ・次の通りオンラインで開催した。

本事業は令和2年度研究成果公开发表(B)として採択された。

講師より許可された講演はビデオ撮影し、本会ホームページ上で講演動画を公開した。

企画名：「光を操る。光で操る。」

期日：2020年11月21日(土)13:00～16:30

場所：オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

参加者数：293名

[詳細ページ (2020 公開講座)] <https://www.jps.or.jp/public/koukai/koukai-2020-11-21.php>

<2021 年度>

- ・次期においては次の通り開催を計画し、令和3年度科学研究費助成事業「研究成果公开发表(B)」に応募した。

企画名：「スパコンの世界と物理学の未来」

期日：2021年11月27日(土)13:00～16:45

3. 物理教室の開催

- ・日本物理教育学会、国立科学博物館との主催で、様々な実験を通して楽しみながら物理の現象を学ぶことができる小学生高学年・中学生向けの体験型実験教室「自然の不思議－物理教室」を全6回開催している。
- ・2020年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

[詳細ページ (物理教室)] <https://www.jps.or.jp/public/middles.php#jikken>

4. 世田谷区理科教室の開催

- ・本会は世田谷区教育委員会が主催する「才能の芽を育てる体験学習～サイエンスドリーム」に協賛し、物理や科学の面白さ・驚きを体感できる実験教室を開催している。
- ・2020年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

5. 基本実験講習会の開催

- ・本会(支部を含む)は、物理教育研究会(APEJ)、日本物理教育学会(支部を含む)と共に、物理の授業で実験を行う機会が減っている現状を改善するため、教員を元気づけ、実験を奨励する取り組みとして「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会」を全国で開催している。

<東京会場(第13回)>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

6. JABEE への協力

- ・本会は、JABEE の「物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野」を関連する学協会とともに担っており、JABEE に関する事項は本委員会で審議・検討を行っている。
- ・今年度、物理・応用物理学関連分野では1件の受審を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により審査スケジュールが大幅に変更された。
- ・実地審査ができないため、オンライン上で審査を行っている。

7. 年次大会総合講演の講師推薦

- ・物理教育の重要性から例年本委員会より講師候補を推薦しており、第76回年次大会（2021年）（オンライン開催）の総合講演の講師候補を1名推薦した。

8. 元委員への情報提供

- ・本委員会の現委員および元委員をメンバーとしたメーリングリストを活用し、定期的に会議内容の情報を提供した。

IV. 物理教育関連活動の報告

- ・物理教育に関する各種活動について、関係する委員・職員から活動状況が報告された。
 - 「大学の物理教育」誌（大学の物理教育編集委員会）
Vol. 26 No. 2～Vol. 27 No. 1の編集・刊行。
 - Jr. セッション（Jr. セッション委員会）
第16回日本物理学会 Jr. セッション（2020）（2020年3月17日/名古屋大学）の中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）、第17回日本物理学会 Jr. セッション（2021）（2021年3月13日（土）/オンライン）の応募状況・審査状況・採択件数。
 - 物理チャレンジ・物理オリンピック（本会は共催）（本会はJPh0の正会員）
国際物理オリンピック IPh02020（リトアニア大会）の中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）、物理チャレンジの実施・審査、国際物理オリンピック派遣候補者選定、国際物理オリンピック IPh02021（リトアニア大会）へ向けた合宿。
 - 国際関係
（今期は会議が開催されなかったため、特段の取組は無かった。）
 - 男女共同参画推進委員会関係
女子中高生夏の学校2020（2019年8月16日・23日・30日/オンライン）はプログラムを縮小して開催。
 - その他
…教科「理科」関連学会協議会関係
シンポジウム（「持続可能な未来のための理科教育 ―気候変動を中心として―」）が2021年5月に開催予定。

以上